

インド国内における上下水道環境整備に貢献する企業のご紹介

2023年5月17日（水） 11時00分～12時45分（インド時間） / 14時30分～16時15分（日本時間）

インド国内の慢性的な水不足に対して、上水道サービスの安定供給と下水処施設の発展を通し、生活インフラ整備に貢献する企業をご紹介します。
登壇者とのビジネスマッチングをご希望の聴講者は、個別会議を設定いたします。

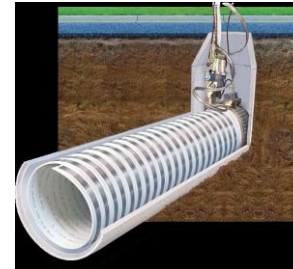
①水道テクニカルサービス

自動漏水音探知技術を用いた漏水検知システムによる、将来的な漏水率低減と水道サービス向上、水道事業の健全化に寄与。



③SEKISUI SPR

非開削技術を活用したスパイラル下水道管路更生工法。幅広いサイズ、独立型設計、防水性に対応。



⑤L&T Construction

L&Tは、水・排水・工業・灌漑の各分野で総合的なソリューションを提供する企業。インド全土及び一部の海外市場でも最先端の処理施設や水インフラを提供。



②東芝ウォーターソリューション

回転繊維ユニット（バチルノテクノコーポレーションの技術）を用いた高度な下水処理システムのインドでの実証に参画。チャンドラワール浄水場では、インド最大級のオゾン処理設備を納入。



④グリーンブルー

ファインバブルを用いた排水処理システムを導入し、排水処理能力向上と水質改善を図ることでビジネス並びに近隣住民の生活環境改善へ貢献。



⑥SUEZ India

スエズは、インドで40年以上の経験を持つフランスの多国籍企業で、サーキュラーエコノミーを中心とした汚泥処理問題を解決するため、先進的な汚泥管理・資源回収技術「ウルトラデヒドリス」を導入。



1st BioFactory™ in Australia
Increased carbon redirection